

令和4年度第2次補正予算行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	医療分野の研究開発の推進			担当部局	研究振興局	作成責任者				
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 奥 篤史				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)					
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション、高齢社会対策			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成等を行うことで、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を促進し、健康長寿社会の形成を目指す。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第2期健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定)、第2期医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、以下①-⑥の「統合プロジェクト」及びナショナルバイオリソースプロジェクトにおける医療・ライフサイエンス分野の研究開発を、基礎から実用化まで一貫して推進するために必要な経費を措置する。(補助率定額) ①医薬品プロジェクト、②医薬品・ヘルスケアプロジェクト、③再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト、④ゲノム・データ基盤プロジェクト、⑤疾患基礎研究プロジェクト、⑥シーズ開発・研究基盤プロジェクト									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度				
		補正予算	-	11,319	51,500	7,207				
		令和4年度 第2次補正予算				7,207				
		前年度から繰越し	1,487	748	10,232	454				
		翌年度へ繰越し	▲ 748	▲ 10,232	▲ 454					
		予備費等	2,813	6,728	7,068	3,798				
		計	56,615	61,860	123,155	64,575				
	執行額	56,615	61,861	123,151						
	執行率(%)	100%	100%	100%						
	当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	107%	96%	116%						
令和4年度第2次 補正予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度 第2次補正予算	主な増減理由							
	医療研究開発推進事業費 補助金	7,207								
	計	7,207								
活動内容 (アクティビ ティ)	優れた基礎研究の成果を医薬品等としての実用化につなげるため、創薬等のライフサイエンス研究に資する高度な技術や施設等を共用する先端研究基盤を整備・強化して、大学・研究機関等による創薬標的探索研究や作用機序解明に向けた機能解析研究等を支援する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	前年度実績と過去3年の伸び率平均からの算出した予測値以上の化合物を提供	創薬支援の取組における化合物提供件数(累積)	活動実績	件	677	791	917	-	-	
			当初見込み	件	880	874	883	-	-	
算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
単位当たり コスト	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難	単位当たり コスト	-	-	-	-	-			
		計算式	-	-	-	-	-			

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 3 年度
	前年度以上の新たな創薬 シーズ件数 ※ライフサイエンスに係る研究 を支援する拠点整備等を 通じたイノベーションの貢献 を測るための目安として設 定した	創薬支援により新たに創薬 シーズが見つかった件数 (年度)		成果実績	件	95	81	80	-
		目標値	件	114	95	81	-	81	
		達成度	%	83.3	85.3	98.8	-	98.8	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	医療分野研究開発推進計画								
活動内容 (アクティビ ティ)	再生・細胞医療の実用化に向け、細胞培養・分化誘導等に関する基礎研究、疾患・組織別の非臨床研究、疾患特異的 iPS細胞を活用した難病の 病態解明・創薬研究及び必要な基盤構築等を行う。また、遺伝子治療について、遺伝子導入技術や遺伝子編集技術に関する研究開発を行う。さ らに、これらの分野融合的な研究開発を推進する。								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	再生・細胞医療・遺伝子治 療プロジェクトにおいて企業 へ導出される段階を目指す 研究課題を支援	再生医療実現拠点ネット ワークプログラムにおいて iPS細胞等幹細胞を用いて 臨床応用を目指す研究課 題(件)(累積)(～令和元 年度) 企業へ導出される段階を 目指す研究課題数(件)(令 和2年度からの累積)(令和 2年度～)		活動実績	件	17	132	173	
			当初見込み	件	17	132	173	212	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の 整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを 算出することは困難			単位当たり コスト	-	-	-	-	-
				計算式	-	-	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 6 年度
	再生・細胞医療・遺伝子治 療プロジェクトにおいて企業 へ導出される段階に至った 研究課題数を5年間で10件 (うち遺伝子治療2件)(うち 企業へ導出された件数2件) とする	再生医療実現拠点ネット ワークプログラムにおいて iPS細胞等幹細胞を用いた 課題の臨床研究への移行 (件)(累積)(～令和元 年度) 企業へ導出される段階に 至った研究課題数(件)(令 和2年度からの累積)(令和 2年度～)		成果実績	件	16	9	12	-
		目標値	件	-	-	-	-	10	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	令和元年度までは、「健康・医療戦略」及び「医療分野研究開発推進計画」において設定されている再生医療に関する達成目標「2020年までの達 成目標:臨床研究又は治験に移行する対象疾患の拡大 約35件」(※)に基づく。 令和2年度以降は、「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)において設定されている再生・細胞 医療・遺伝子治療に関する達成目標「企業へ導出される段階に至った研究課題数10件(うち遺伝子治療2件)(うち企業へ導出された件数2件)」 (※※)に基づく。 ※達成目標の年間35件については、3省(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)の合計の目標値であり、そのうちの文部科学省分として「約15 件」とした。 ※※新達成目標の年間10件についても、同じく上記3省の合計の目標値であるが、本件については各省連携の下に一貫した支援を行っており、 省庁ごとに目標値を按分することができないことから、実績値・目標値とも3省の合計とする。								
活動内容 (アクティビ ティ)	医療分野の研究開発への応用を目指し、生命現象や疾患メカニズム解明等のための基礎的な研究開発を行う。中でも脳機能および感染症の研 究開発に取り組み、成果を臨床研究開発や他の統合プロジェクトにおける研究開発に結び付けるとともに、臨床上の課題を取り込んだ研究開発 を行うことにより、基礎から実用化まで一貫した循環型の研究を支える基盤を構築する。								

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	脳とこころの研究推進プログラム及び新興・再興感染症研究基盤創生事業において、生命現象や疾患メカニズムの解明等を支援		科学誌に論文が掲載された研究成果の数 ※下段()内はインパクトファクター5以上の科学誌に論文が掲載された研究成果の数 ※右表年度の集計期間は、データベースからの算出のため、1月～12月となっている。 ※令和3年度活動実績は、集計中のため未記載。 ※科学誌に論文が掲載された研究成果の数(インパクトファクター5未満の科学誌を含む)については、「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月)にて目標値が設定されていないため、当初見込みを設定しない。 ※インパクトファクター5以上の科学誌に論文が掲載された研究成果の数の当初見込みについては、上記計画のKPIに基づき、該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出する。このため、令和5年度分は未記載とする。	活動実績	件	-	611(279)	-	-
当初見込み				件	-	-(43)	-(44)	-(47)	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難		単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 6年度
	脳とこころの研究推進プログラムおよび新興・再興感染症研究基盤創生事業における他の統合プロジェクトへ企業等への導出を、該当事業の予算額に応じた件数行う ※目標値は「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月)における成果目標(KPI)を該当事業予算額に応じて按分し単年度ごとに算出	シーズの他の統合プロジェクトや企業等への導出件数	成果実績	件	-	1	2		
			目標値	件	-	1	1	1	-
			達成度	%	-	100	200	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月)における成果目標(KPI)(令和6年度までの累積値)を該当事業予算額に応じて按分し算出。								

活動内容 (アクティビティ)		アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しができる体制を構築し、橋渡し研究支援拠点内外のシーズの積極的支援や産学連携の強化を通じて革新的な医薬品・医療機器等の創出に貢献。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	橋渡し研究支援拠点でアカデミア等の優れたシーズを臨床研究・実用化へ効率的に支援	橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズ数 ※令和5年度活動見込は、令和4年度活動実績に基づき設定するため未記載。	活動実績	件	1,327	1,427	1,326	-	-	
			当初見込み	件	1,434	1,614	1,614	1,360	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備等、内容が多岐にわたるため、単位当たりコストを算出することは困難	単位当たりコスト		-	-	-	-	-		
		計算式		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 6年度	
	令和6年頃までに34件/年の基礎研究課題を治験の段階に移行させる	令和元年度まで： 橋渡し研究支援拠点の支援により基礎研究の成果が薬事法に基づく医師主導治験の段階に移行した数(件) 令和2年度以降： 治験届出件数のうち医師主導治験の数(件)	成果実績	件	24	26	37	-	-	
			目標値	件	17	34	34	-	34	
			達成度	%	94.1	76.5	108.8	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日閣議決定)におけるシーズ開発・研究基盤プロジェクトの目標数(KPI)に基づき設定。各年度ごとの目標値は、170件÷5年=34件/年とする。 ※達成目標および成果実績は、橋渡し研究支援拠点(文部科学省)と臨床研究中核病院(厚生労働省)で一貫した支援による成果であることを踏まえて、これら拠点の実績とする。									
活動内容 (アクティビティ)		ナショナルバイオリソースプロジェクトについては、大学、研究機関等を対象に実施機関(中核拠点)を公募により選定し、ライフサイエンス研究の基盤を支える実験用動物・植物・微生物等(バイオリソース)の収集・保存・提供を行うとともに、バイオリソースの付加価値向上を目指したゲノム情報等の解析や保存技術等の開発を行う。また、バイオリソースの所在情報等を提供する情報センター機能を強化する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	中核拠点や情報センターの整備	中核拠点や情報センターの整備件数	活動実績	件	27	28	28	-	-	
			当初見込み	件	27	27	28	28	28	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	(年度執行額)÷(中核拠点や情報センターの整備件数)	単位当たりコスト		百万円	49	47	44	41		
		計算式		百万円/件数	1,332/27	1,316/28	1,231/28	1,231/30		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
	中核拠点が大学・研究機関等に提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数が前年度と同程度であること	中核拠点が大学・研究機関等に提供した実験動物・植物等を用いて発表された論文数	成果実績	件	945	1,021	-	-	-	
			目標値	件	1,031	945	1,021	-	-	
			達成度	%	92	108	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	NBRPリソースを使用して行われた研究の成果論文データベース(RRC: https://rrc.nbrp.jp/)より算出した。各年度の実績値については、行政事業レビューシート作成当時の集計値であって、集計後に提供先から発表された論文が報告されることがあるため、過去の値も含め増加する可能性がある。また、令和3年度の実績値については集計中であり、令和5年4月～5月頃確定の見込みである。									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	<input checked="" type="checkbox"/>	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応							
		施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-3.pdf					
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:							
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:							
		該当箇所								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療分野の研究開発の推進に向けて、法律に基づき設置される日本医療研究開発機構における事業を推進するために国費の投入は必要であり、優先度の高い、国民や社会のニーズを反映した事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療分野の研究開発の推進に向けて、日本医療研究開発機構において、基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、切れ目ない研究支援を一体的に行う必要不可欠な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	医療分野の研究開発の推進に向けて、日本医療研究開発機構において、基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、切れ目ない研究支援を一体的に行う必要不可欠な事業であり、優先度の高い、国民や社会ニーズを反映した事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	調達に関しては、汎用的な備品や消耗品等の調達に当たって一括調達や単価契約を行い、効率化を図ることとしている。支出先の選定は、原則として一般競争入札を実施している。入札説明会に参加したが入札しなかった者等を対象に辞退理由のアンケート調査を行い、結果を購入依頼部室にフィードバックすることにより、調達の改善を行っている。また、20百万円を超える随意契約を締結する案件については、機構内に設置された契約審査委員会にて報告し、会計規程との整合性や、より競争性のある調達手続の実施の可否の観点から点検を受けることになっている他、監事及び外部有識者によって構成する契約監視委員会において事後点検を行い、その審議概要を公表するなど専門的かつ厳格な制度運用を行っており妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、各省の枠を超えて、領域ごとに置かれるプログラムディレクター(PD)、プログラムオフィサー(PO)を活用した、基礎から実用化までの一貫した研究管理を実施し、真に必要な支出に限定することとしている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	研究方式の決定に時間を要し、計画の条件、資材の入手難といった理由から繰越をしている。繰越の事由については、繰越明許費として国会に承認を得ている。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	公募の実施による実施主体の選定に加え、実施主体からの支出については、競争性を確保するため、競争入札等により、競争性・透明性を確保しつつ、合理的な支出を行うこととしている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	健康・医療戦略等に掲げる施策を推進するにあたり、施策ごとに達成すべき成果目標を定めており、状況に応じて、更なる検討・検証等を行い、必要に応じて見直しを行うこととしている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	医療分野の研究開発の推進にあたっては、法律に基づき、日本医療研究開発機構において実施することとなっており、政府の全体方針に基づく効果的・有効な事業を推進することとしている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	各項目とも、実績は、目標・見込み値を概ね達成している又は達成に近い範囲にあり、目標・見込みに見合ったものである。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	
	事業番号	事業名	
	内閣府 21 0137	科学技術イノベーション創造推進費(健康・医療分野)	
	文部科学省 21 0272	国立研究開発法人日本医療研究開発機構運営費交付金に必要な経費	
		日本医療研究開発機構に、医薬品、医療機器等及び医療技術に係る医療分野の研究開発業務に関し、国が戦略的に行う研究費等の配分機能等を集約し、一体的な資金配分を行うとともに、各省それぞれが実施してきた医療分野の研究開発について、プログラムディレクター(PD)の目利き機能を生かした基礎から実用化まで一貫した研究マネジメントのもと、知的財産の専門家による知的財産管理などの研究支援等も含め、基礎から実用化まで切れ目ない研究支援を一体的に行うこととしている。	

備考

■令和元年度公開プロセスでの指摘

0243 医療分野の研究開発の推進

<結果>

事業内容の一部改善

<とりまとめコメント>

・各省庁間で個々に行っていたプロジェクトを一つにまとめて執行する組織が出来て、これが機能していることが確認できたことは大きな成果である。今後とも連携がうまく進んでいるかどうか評価をしていくべきである。

・プロジェクトマネジメントは重要な役割を担うため、このような人材の育成・確保にも努めるべきである。また、ある一定の単位で入れ替わる任期付きスタッフの処遇についても、今後検討が必要である。

・個々の事業の進捗が把握できるようなロードマップの検討が必要である。

<対応状況>

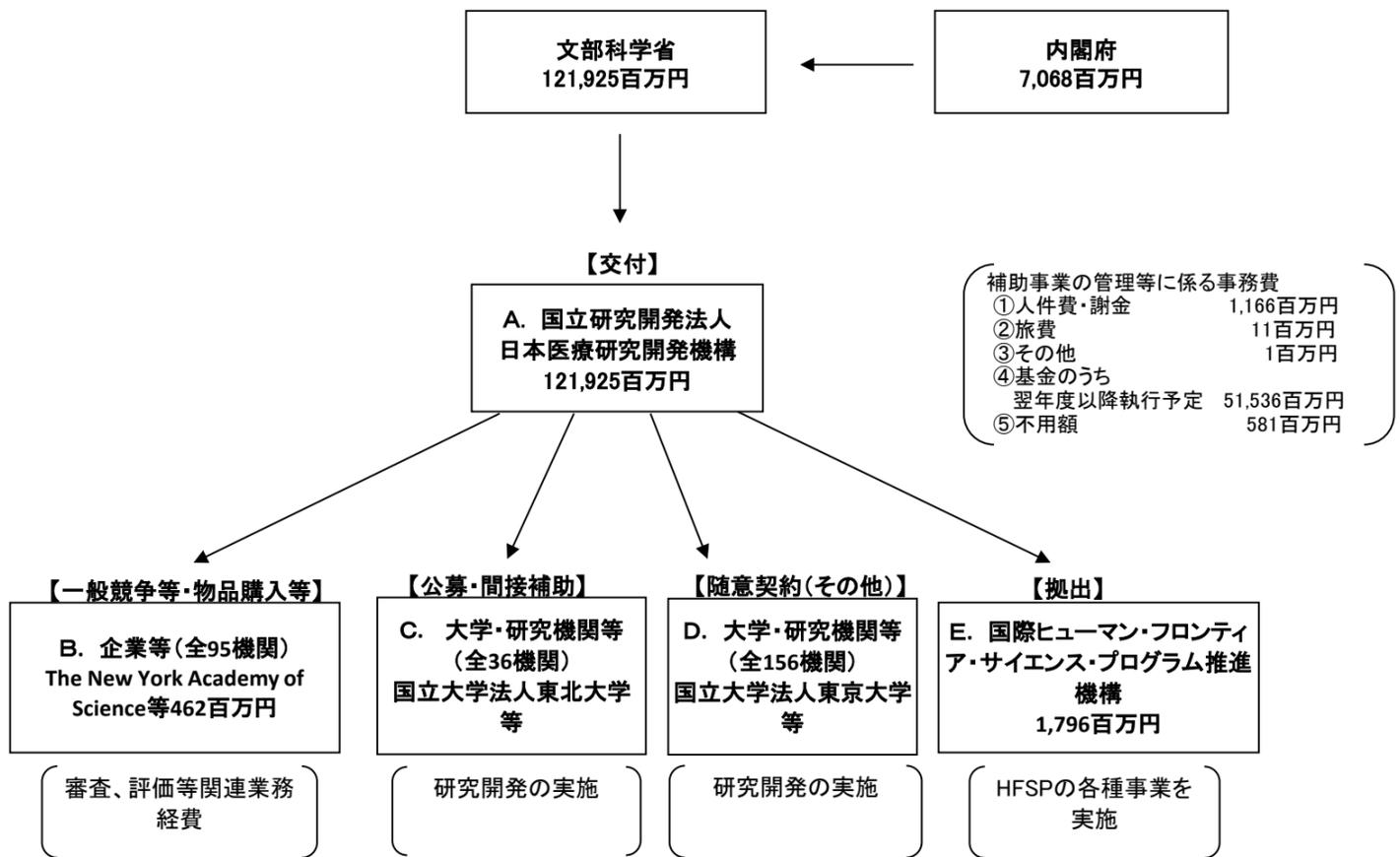
・これまで、様々な疾患に展開可能なモダリティ(技術・手法)等の開発が疾患別のプロジェクトにより特定の疾患に分断されていたことなどから、第2期健康・医療戦略においてモダリティ等の6つの領域ごとにプロジェクトを再編し、疾患横断的に研究開発を推進する。

・研究を着実に推進するため、AMEDにおいてプロジェクトごとにプログラムディレクター(PD)を置き、各省の事業を連携させ一元的に管理する。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	26-214、26-215、26-216	26-224	26-229	26-230
平成27年度	新27-0025			
平成28年度	244			
平成29年度	252			
平成30年度	249			
令和元年度	文部科学省 - 0243			
令和2年度	文部科学省 0244			
令和3年度	2021 文科 20 0267			

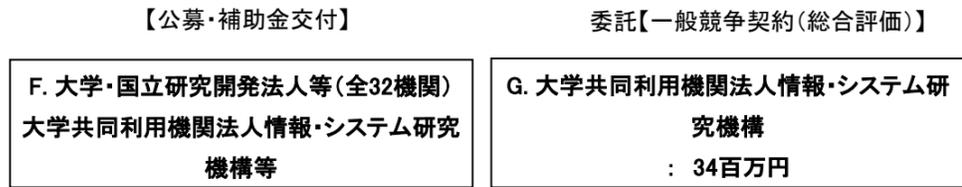
※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



文部科学省 1,226百万円

諸謝金 0百万円
職員旅費 0百万円

ナショナルバイオリソースプロジェクトについては、中核拠点を公募により選定し、実験用動物・植物・微生物等(バイオリソース)の収集・保存・提供を行うとともに、ゲノム情報等の解析や保存技術等の開発を行う。また、バイオリソースの所在情報等を提供する情報センター機能を強化する。



中核拠点整備やバイオリソースの系統・特性情報、ゲノム配列等の整備、保存や品質管理の技術開発、バイオリソースの所在情報や遺伝情報の

ナショナルバイオリソースプロジェクトの審査・評価・課題管理・調査分析に係る支援業務を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
て補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載)	A.国立研究開発法人日本医療研究開発機構			B. The New York Academy of Science		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金	医療分野の研究開発	121,925	役務費	2021年度Interstellar Initiative開催委託、他	93.3
	計		121,925	計		93.3
	C.国立大学法人 東北大学			D.国立大学法人 東京大学		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	印刷費、外注費等	2,903.7	物品費	備品、消耗品等の購入費用	2,662.3
	物品費等	備品、消耗費等の購入費用	1,804.4	間接費	研究遂行に関連して必要な経費	1,473.6
	人件費・謝金	人件費、謝金	1,760	その他	印刷費、外注費等	1,228
	旅費	旅費	18.3	人件費・謝金	人件費、謝金	972.8
間接費	研究遂行に関連して必要な経費	7.3	旅費	旅費	48.7	
計		6,493.7	計		6,385.4	
E.国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム 推進機構			F. 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
拠出金	HFSPの各種事業を実施するための経費	1,796	人件費・謝金	研究者及び研究補助者の人件費・謝金等	109	
			その他	外注費(データベース維持管理等)等	85	
			物品費	備品、消耗品等の購入費用	35	
			管理経費	事業の管理業務に必要な経費	24	
			旅費	国内旅費	10	
計		1,796	計		263	
G.大学共同利用機関法人情報・システム研究機構			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費	業務担当職員、補助者の人件費	22				
業務実施費	消耗品購入費用、会議開催経費等	10				
一般管理費	業務遂行のために必要な経費	2				
設備備品費	設備備品の購入費用	0				
計		34	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	121,925	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	The New York Academy of Science	-	2021年度 Interstellar Initiative 開催委託、他	93	随意契約 (その他)	-	-	-
2	有限責任監査法人 トーマツ	5010405001703	令和3年度 拠点支援シー ズデータベース(BRIDGE) の運用保守・分析、他	59	随意契約 (公募)	-	-	-
3	株式会社マックス パート	8010001069555	会場借上	34	随意契約 (その他)	-	-	-
4	株式会社日本総合研 究所	4010701026082	AMED医療機器シーズアク セラレーション支援業務	27	一般競争契約 (総合評価)	2	96.2%	-
5	ネイチャー・ジャパン 株式会社	7011101016919	2021年度AMEDレビューア 候補者提案査読等依頼/ 候補者プール構築及び企 業評価委員候補者プール 構築のための支援業務	22	随意契約 (公募)	-	-	-
6	特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援 センター	2013405000693	2021年度アフリカ合同シン ポジウム運営・支援業務、 他	21	一般競争契約 (最低価格)	1	86.8%	-
7	日鉄日立システムエ ンジニアリング株式 会社	3010001025546	令和3年度 AMEDオンライ ン課題評価システム 運用 保守、他	21	随意契約 (公募)	-	-	-
8	株式会社TSP	1011001014417	令和3年度 AMED研究開発 課題管理支援ツール 基盤 運用保守	20	随意契約 (その他)	-	-	-
9	株式会社エヌ・ティ・ ティ・データ経営研 究所	1010001143390	令和3年度 AMED研究成 果として得られたデータの 利活用に関する調査	20	一般競争契約 (総合評価)	1	86.8%	-
10	株式会社英知	2010801028286	労働者派遣	16	一般競争契約 (最低価格)	1	95.3%	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東北大 学	7370005002147	東北メディカル・メガバンク 計画他、全7件	6,494	補助金等交付	-	-	-
2	国立大学法人東京大 学	5010005007398	実践創薬ナレッジとイノベ ーションで拓くリード創出他、 全10件	3,483	補助金等交付	-	-	-
3	国立大学法人長崎大 学	3310005001777	国際的に脅威となる一類感 染症の研究に必要な高度 安全実験施設(BSL-4) 他、全3件	2,314	補助金等交付	-	-	-
4	国立大学法人大阪大 学	4120905002554	クライオ電子顕微鏡法によ る生体分子構造解析の高 分解能化と効率化を目指 した研究他、全8件	1,809	補助金等交付	-	-	-
5	大学共同利用機関法 人高エネルギー加速 器研究機構	4050005005267	創薬等ライフサイエンス研 究のための相関構造解析 プラットフォームによる支援 と高度化他、全2件	1,273	補助金等交付	-	-	-
6	国立大学法人九州大 学	3290005003743	グリーンファルマを基盤にし た創薬オープンイノベーシ ョンの推進他、全3件	1,054	補助金等交付	-	-	-
7	国立研究開発法人理 化学研究所	1030005007111	生体試料を用いた大規模機 能ゲノミクス解析による創 薬等支援及び技術基盤の整 備他、全	916	補助金等交付	-	-	-
8	国立大学法人北海道 大学	6430005004014	生体試料を用いた大規模機 能ゲノミクス解析による創 薬等支援及び技術基盤の整 備他、全4件	521	補助金等交付	-	-	-
9	学校法人岩手医科大 学	4400005000752	東北メディカル・メガバンク 計画1件	378	補助金等交付	-	-	-
10	国立大学法人京都大 学	3130005005532	アカデミア発先端医療技術 の早期実用化に向けた実 践と連携他、全7件	285	補助金等交付	-	-	-

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	メチニコフ創薬: AIMによる食細胞機構の医療応用実現化他、全133件	6,385	随意契約(その他)	-	-	
2	国立大学法人京都大学	3130005005532	再生医療用iPS細胞ストック開発拠点他、全99件	5,293	随意契約(その他)	-	-	
3	国立大学法人東北大学	7370005002147	AMEDが行うゲノム医療研究支援サービスを支える研究開発基盤の整備他、全41件	4,819	随意契約(その他)	-	-	
4	国立大学法人大阪大学	4120905002554	老化機構・制御研究拠点他、76件	3,782	随意契約(その他)	-	-	
5	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明他、40件	3,252	随意契約(その他)	-	-	
6	学校法人慶應義塾	4010405001654	iPS細胞由来神経前駆細胞を用いた脊髄損傷・脳梗塞の再生医療」他、全38件	1,463	随意契約(その他)	-	-	
7	公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団	2130005015689	再生医療用iPS細胞ストック開発拠点1件	1,430	随意契約(その他)	-	-	
8	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学	3180005006071	化学を基盤としたmRNAの分子設計・製造法の革新とワクチンへの展開他、全41件	1,228	随意契約(その他)	-	-	
9	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する粘膜再生治療の開発拠点他、全34件	1,070	随意契約(その他)	-	-	
10	国立大学法人九州大学	3290005003743	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心不全治療の実用化他、全31件	976	随意契約(その他)	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム推進機構	-	「ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム」に参加するための拠出金1件	1,796	その他	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構	1012805001385	情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進、他4件	263	補助金等交付	-	-	
2	国立大学法人京都大学	3130005005532	ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・提供、他4件	218	補助金等交付	-	-	
3	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	5012405001823	ライフサイエンス研究用ニホンザルの飼育・繁殖・提供、他3件	116	補助金等交付	-	-	
4	国立大学法人九州大学	3290005003743	カイコバイオリソースの収集・保存・提供、他4件	64	補助金等交付	-	-	
5	国立大学法人長崎大学	3310005001777	ヒト病原ウイルスのリソース拠点の整備、他1件	55	補助金等交付	-	-	
6	国立大学法人東京大学	5010005007398	情報発信体制の整備とプロジェクトの総合的推進、他3件	49	補助金等交付	-	-	
7	学校法人東京女子医科大学	5011105000937	遺伝子機能解析用線虫ストレインの収集・保存・提供	48	補助金等交付	-	-	
8	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	ゼブラフィッシュの収集・保存および提供、他4件	46	補助金等交付	-	-	
9	国立大学法人京都工芸繊維大学	2130005005533	ショウジョウバエ遺伝資源の戦略的収集・維持管理および提供、他1件	46	補助金等交付	-	-	
10	国立大学法人筑波大学	5050005005266	トマトバイオリソース中核拠点整備、他3件	38	補助金等交付	-	-	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
							年度	6年度	
革新的医療機器の実用化に 資する成果の件数(累積)を 5年間で15件とする		シーズの他事業や企業等へ の導出件数	成果実績	件	-	6	1	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	15
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	文部科学省調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標	目標最終年度	
							年度	4年度	
ゲノム医療実現バイオバン ク活用プログラム(B- cure)において、新たな疾患 関連遺伝子候補及び薬剤関 連遺伝子候補数を5年間で 400件とする		発見された疾患関連遺伝子 候補及び薬剤関連遺伝子候 補数(累積)	成果実績	件	311	683	6,169	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	400
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	ゲノム医療の実現に向けた基礎研究の成果として、ゲノム医療実現バイオバンク活用プログラム(B-cureの実績を記載。 平成30年度-令和4年度までの5年間で、オーダーメイド医療の実現プログラムの実績(平成25-29年度の5年間で370)を上回ることを目標として設定 する。								